

目 次

巻頭要約 2017年のオートキャンプ概況

「オートキャンプ参加人口」：5年連続で前年上回る	1
オートキャンプ活動の実態：冬期増でオールシーズンへ	2
オートキャンプ場の実態：平均57人の外国人が訪れる	3
キャンプ用品の需要動向：冬キャンプの需要増	4
オートキャンプに使う車：キャンピングカーレンタカー事業者増	5

第1章 2017年のオートキャンプ活動

第1節 キャンパーの実態	6
1. キャンパーの構成	6
(1) オートキャンプ参加人口：1.2%増	6
(2) 平均年齢：42.7歳	7
(3) 経験年数：平均7.9年	9
(4) 始めたきっかけ：同行者問わず「友人の誘い」	10
(5) キャンプ同行者：「子供連れ」が約6割	11
(6) キャンプの人数：子供の数平均上回る	13
(7) 世帯年収：中心は500万円台～600万円台	14
(8) 職業：会社員が半数以上に	14
第2節 オートキャンプ活動の実態	15
1. キャンプ活動	15
(1) 自宅からの距離：100km圏内47%	15
(2) リピート率：平均3.2回	16
(3) 年間キャンプ回数：平均3.5回	17
(4) 延べキャンプ泊数：平均5.0泊と上昇	19
(5) 活動時期：冬キャンプに注目	21
(6) キャンプ費用：平均2万3,860円	22
(7) レンタル用品の利用：「濡らしたくない」という理由も	23
(8) 食材などの買い物：グループや夫婦はキャンプ場周辺	25

(9) キャンプと観光：6割以上が行く	25
2. キャンパーの行動と意識	27
(1) イベント：アクティブ志向続く	27
(2) キャンプ時の事故：事故なし7割	27
(3) ペット：「夫婦だけ」ペット連れ2割強	28
(4) キャンプ場選び：情報収集の多様化	29
(5) 情報の発信：グループが積極的	30
第3節 キャンパーの意識と価値観	31
1. キャンプに求めるもの	31
(1) キャンプの魅力：同行者により異なる	31
(2) 好きな過ごし方：野外料理は大きな楽しみ	31
(3) キャンプへのこだわり：無理をしないでのんびりと	32
2. キャンプ場に求めるもの	34
(1) サービス：新たに「Wi-Fi」の要望も	34
(2) 施設・設備：快適なサイト	34
(3) 適切と考える料金：平均5,765円	35
(4) グランピングについて：若い人ほど人気	36
3. レジャー・余暇生活	37
(1) 生涯キャンプ：「続ける」89.9%	37
(2) レジャー満足度：平均より高く	38
(3) 生活の力点：レジャー・余暇生活6割超える	39

第2章 オートキャンプ場の実態

第1節 オートキャンプ場の施設	40
1. 整備状況：全国に1,282カ所	40
2. 開設年：1990年代が約49%	40
3. 管理形態：指定管理者制度の契約期間は5年以上64%	41
4. 設備の整備状況：利用者に対応した整備が必要	43
5. バリアフリー化：トイレの改修進む	44
第2節 オートキャンプ場の管理	46

1. 営業期間：通年営業 45 %	46
2. 管理体制	47
(1) 管理体制：5割以上が夜間に管理人常駐	47
(2) アーリーチェックイン・レイトチェックアウト：有料が過半数を超える ..	48
3. 利用料金	50
(1) 利用料金：全国平均 4,526 円	50
(2) キャンセル料金：導入している 55 %	51
4. 予約	53
(1) 予約方式：外部予約センター微増	53
(2) 予約管理：パソコンでの管理が徐々に増加	56
5. ペットの対応：ペット OK 7割超	57
6. 料金設定：シーズン料金導入率、増加傾向	58
7. 保険加入：キャンプ場保険加入率 81 %	59
8. 場内での事故：ケガ・病気が最多	60
9. キャンパーからの苦情：施設に関する苦情がトップ	61
10. 管理上の問題点：施設老朽化進む	62
11. ゴミ処理：「有料で収集」が増える	63
12. キャンパーのマナー：「悪くなった」が年々減少	64
第3節 オートキャンプ場の運営	65
1. 2017年の利用状況	65
(1) 稼働率：天候・休日に左右されず稼働率が過去最高を記録	65
(2) 売上高：ほぼ前年並みで推移	67
(3) 利用状況：夏から秋にかけての天候不順の影響などを受けやや減少	68
(4) 平日の利用者：シニア世代が牽引し平日の利用が増加	69
2. 2017年の収支状況	70
(1) 収支状況：好調を維持	70
(2) 収入の内訳：基本料収入が 57 %	74
3. 宣伝方法：ネット利用が増加	75
4. オートキャンプの将来性	77
(1) オートキャンプの将来性：「拡大発展する」年々増加	77

(2) 施設改善等への投資：老朽施設の改修	78
5. 訪日外国人の受け入れ：平均利用者数 57.2 人	79
6. グランピング：導入に慎重な姿勢が強まる	81
7. オートキャンプ場評価：星マーク認定で情報提供	82
8. 助成制度の活用：各種助成金やファンドの上手な利用が望まれる	82
9. 災害対策：災害に対する備えの取り組み低下懸念	83
10. 地域との連携：さらなる貢献に期待	84
11. 2017 年のキャンパーの傾向：初心者・シニア・ソロ・外国人増える	85
12. キャンプ場の運営・管理で困っていたことと、その解決策	86

第3章 キャンプ用品の需要動向

1. キャンプ用品の輸入動向	89
(1) テントの輸入：綿製のテント倍増	89
(2) シュラフの輸入：輸入数は上昇	90
(3) タープ：3年振りにプラスに	90
2. キャンプ用品販売動向	91
(1) 販売の傾向：8割が前年比増	91
(2) 用品販売の収益性：「改善」が7割超	92
3. キャンプ用品傾向	93
(1) テント：より個性的なものを求める	93
(2) キャンプスタイル：ツールームが2位に	94
(3) 照明器具：電池が7割近く	94
(4) 調理の燃料：複数の併用	95
(5) 購入金額：平均4万4,350円	95
(6) 購入時期：オフシーズンも微増	96
(7) 購入先：新たにリサイクルショップも登場	96
4. キャンプ用品の市場規模：97年以来600億円台に	98

第4章 オートキャンプに使う車の傾向

1. 使用する車：レンタカーは2%	99
2. キャンピングカー	100
(1) 17年の登録傾向：登録台数7県で前年比増	100
(2) キャンピングトレーラー：堅調を維持	103
(3) その他のキャンピングカー：軽キャン依然堅調	104
(4) キャンピングカーのレンタカー：新規参入も増える	104
(5) キャンピングカーのキャンパー：平均回数7.1回	104